

# 「こどもや子育てにやさしい休み方改革」 の進行管理について

令和8（2026）年9月

こどもや子育てにやさしい休み方改革プロジェクトチーム

# 令和7年度の主な取組

## 1 こどものために休むことが当たり前となる社会全体の機運醸成

- ・やまぐち子ども・子育て応援ファンドの寄附金を活用し、休み方改革に関連した取組を実施する子育て団体等を支援

▶ R7助成件数：15団体

- ・11月の「こどもや子育てにやさしい休み方改革」月間中、子ども連れの方の公の施設の利用料を免除（7施設※）

▶ 利用者数(子ども連れ)：計3,986グループ、14,507人（前年同月比108%（14,507人／13,489人））

▶ 子どもの利用者数の増加率（R5（取組前）同月比）

オーヴィジョン海峡ゆめタワー 6.8倍、やまぐちフラワーランド 2.8倍 等

※実施施設：新光産業きらら浜自然観察公園、オーヴィジョン海峡ゆめタワー、山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館、やまぐちフラワーランド、山口きらら博記念公園（プール）、山口博物館



## 2 こどもと過ごすための休暇を取得しやすい職場環境づくり

- ・独自の制度や取組を導入することで休み方改革を進めている企業の想いや従業員の体験談を動画で紹介

▶ 総計約30万回視聴され、休み方改革の認知度向上に寄与

- ・育休取得を推奨する企業への奨励金の支給

▶ R7「山口県もっと育休奨励金」支給件数：329件（R8.3月末時点、R6からの累計 1,185件）



／休み方紹介動画／

## 休暇を家族で一緒に過ごせる仕組みづくり（家族でやま学の日）

### ・県立学校の実施状況

令和6年6月にすべての県立学校で開始

- ▶ R7申請件数 県立高校等：**2,070件**（取得率※10.1%）  
総合支援学校：**161件**（取得率7.9%）

### ・市町立学校の実施状況

令和6年6月から順次開始し、すべての市町で開始

- ▶ R7申請件数 市町立小・中学校：**17,095件**（取得率19.5%）

※ 取得率：R7申請件数／R7児童生徒数（学校基本調査）

### 活用例

- ・進路希望先（大学や職場）訪問
- ・歴史的建造物や名所、史跡巡り
- ・農業体験
- ・初めての公共交通機関体験
- ・動物園や水族館、資料館を見学
- ・博物館で日本の歴史を学習
- ・企業が主催する職場体験に参加



## 家族で山口への愛着を高めながら楽しめるコンテンツの充実

- ・家族で楽しみながら県内市町と津和野町を巡る宝探しイベント

「**山口ふくだるま開運さんぽ**」を実施（令和7年7月19日～令和8年1月31日）

- ・アウトドア等体験コンテンツの利用料を割引する「**やまぐちのアソビ新発見割2025**」

▶ 第1期 令和7年 7月1日～ 8月31日 10%割引 利用人数 **1,823人**

▶ 第2期 令和7年10月1日～12月31日 20%割引 利用人数 **1,345人**

- ・古地図を片手に、まちを歩こう。「**やさしいコース**」

親子連れでも気軽に歴史ガイドウォークを楽しめる「やさしいコース」

▶ **16回開催**（令和8年3月末時点）

やまぐちの  
アソビ新発見割  
2025



# 休み方改革の取組の進捗状況

○毎年度の進捗状況については、以下の指標により把握

| 指 標                         | R6.7 | R7.7    | R8.7    |
|-----------------------------|------|---------|---------|
| ①「こどもや子育てにやさしい休み方改革」の認知度    | 19%  | 25%     | 22%     |
| ②子どもと過ごすための休暇が取得しやすいと思う人の割合 | 47%  | 47%     | 54%     |
| ③男性が育休を取得しやすい職場だと思う人の割合     | 30%  | 33%     | 43%     |
| ④やまぐち“とも×いく”応援企業登録数（累計）     | 297件 | 1,097件  | 1,317件  |
| ⑤「家族でやま学の日」の申請件数（累計）        | 460件 | 14,658件 | 34,197件 |

※①～③：山口県「若者や子育て世代に対する県民実感度調査」、④：県労働政策課調べ、⑤：県教育委員会調べ

# 令和8年度の主な取組

## 社会全体の機運醸成

### POINT 休み方改革のさらなる機運醸成に向けた新たな取組の実施

#### 現状・課題（参考指標①）

- ・ 休み方改革の取組の認知度向上に向け、企業や団体等との連携をさらに広げていくとともに、休み方改革の機運を一層醸成する取組の実施が必要。

#### 令和8年度の取組

- ・ 「こどもまんなかアクション」リレーシンポジウム  
「とも×いく」や「やさしい休み方改革」の推進等、  
こどもや子育て家庭を社会全体で支える機運を醸成  
〔開催日〕 令和8年11月29日（日）  
〔場 所〕 KDDI維新ホール
- ・ 休み方改革PR動画（知事出演）の制作  
若手を中心とした休み方改革の取組をテーマに「知事と若手県職員の対話」の動画を制作し、  
県庁が率先して取り組んでいることを発信することで、企業・団体の取組を力強く後押し。



／シンポジウムのイメージ／

## POINT 誰もが希望どおりに休みを取得できる環境づくりへの支援

### 現状・課題（参考指標②・③・④）

- ・「“とも×いく”応援企業登録数」は当初目標（2030年までに1,180件）を上回り、「男性が育休を取得しやすい職場だと思ふ人の割合」は増加するなど、男性育休に対する企業の理解は広がっている。
- ・一方で、従業員の働き方が多様化する中、現場のニーズに合わせた対応が求められていることから、若手従業員の視点を踏まえた休みやすい環境づくりを併せて進めることが必要。

### 令和8年度取組

- ・若手従業員が主体となって、企業の働き方や休み方改革につながる業務改善に積極的に取り組む「ユースワークチャレンジ」を支援し、好事例を県内企業に広く展開

〔取組例〕若手従業員が提案した新たな休暇制度の導入や業務フロー改善の取組 等

- ・共育て時代の働き方・休み方改革に係るリーフレット2026を作成・配布し、育休奨励金や共育て応援補助金、企業の取組事例を紹介

- ・企業のワークスタイルシフト推進を図るため、デジタル技術の活用に向けたワークショップを開催（7月、計3会場、参加者総数：55社）

- ▶ 新たな休暇制度の導入、業務効率化による休暇取得促進に向けた伴走支援を実施予定

／リーフレット／



／ワークショップ／

POINT 平日でも遊べる観光コンテンツの充実

現状・課題（参考指標⑤）

- ・「家族でやま学の日」について、令和6年6月の制度開始以降、申請件数は累計で約3.4万件となり、取得率（R6：8.4% ⇒ R7：19.5%（公立小・中））は大きく伸びている。
- ・制度が積極的に利用されるよう、平日でも家族で学び、楽しめるコンテンツのさらなる充実が必要。

令和8年度の取組

山口デスティネーションキャンペーンを契機に、平日でも楽しめる観光キャンペーンやコンテンツが充実

〔観光キャンペーン〕

- ・県内周遊キャンペーン

「山口ふくだるま開運さんぽ」

- ・アウトドア等体験コンテンツ割引キャンペーン

「やまぐちのアソビ新発見割2026」

- ・古地図を片手に、まちを歩こう。やさしいコース



〔観光コンテンツ〕



恐竜の森アドベンチャー  
(宇部市)



りんご狩りとりんご飴作り体験  
(山口市)



てんこく  
篆刻体験 (岩国市)

❖このほか、「家族でやま学の日」の取得にもつながるよう、昨年度に引き続き、休み方改革月間（11月）には、子ども連れを対象に一部の公の施設の使用料等を免除するとともに、親子で参加できる体験教室やイベントを開催